

# 平成 22 年度農林水産施策の概要

## 1. 平成22年度農林水産施策の基本方針

長引く経済不況の下、デフレの影響を受け農産物価格も低迷を続けているが、食の安全・安心や自給率向上への関心の高まりを受け、新たなビジネスチャンスとして農業を捉える動きが見られ、新規就農や企業の農業参入が注目されている。市では、重点事業として平成19年度より「アグリクリエイター創生事業」を実施しており、担い手農家が行なう6次産業化への取り組みや新規就農支援などを行なってきた。平成23年度からの新総合計画の策定に伴い、「アグリクリエイター創生事業」は今年度を最終年としてこれまでの検証を行いながら実施し、23年度からの新たな取り組みを検討していく。

併せて、農業委員会を中心に実施している耕作放棄地全体調査の結果を分析し、関係者での耕作放棄地の現状認識の下、優良農地への再生を行い、認定農業者や新規就農者、NPO法人等多様な担い手による農地の有効活用を図る。

一方、水田経営においては今年度より「戸別所得補償モデル対策」が実施されることに伴い、関係機関との連携を密にし制度の円滑な実施を図る。また、経営安定化のため水田や農作業の集約を図り、地域認定農家への農地の集積や集落営農組織の育成を進めていく。さらに、本市の特産品であるお茶を始めとし、園芸作物や畜産物などの地産地消、地域ブランド化を推進する。

また、農水生産基盤の整備を進めるとともに、水産資源の確保に結びつく漁場環境の改善や種苗放流についても引き続き実施する。

### 1. 四日市アグリクリエイター創生事業について

平成19年度からの第2次行政経営戦略プランにおいて、自ら創意工夫し、チャレンジする人材を育成することを目的として「四日市アグリクリエイター創生事業」を実施している。

本事業においては、「農のプロフェッショナルづくり」、「新しい農の担い手づくり」、「地産地消ふるさとづくり」、「農地の守り手づくり」を4本の柱として事業を展開する。

「農のプロフェッショナルづくり」事業では、農業者が自ら行う、経営基盤の安定や所得の向上を図ることを目的とした、創意工夫のある事業展開を支援する。22年度は新たに集落ぐるみでの営農による地域水田を維持するための施設整備支援を行う。

「新しい農の担い手づくり」事業では、四日市市の農業の将来を支える多様な担い手を育成・確保するため、新規就農を志す人への技術研修や初期投資（機械・施設等）に対する支援、株式会社等企業の農業への参入促進事業を行う。

「地産地消ふるさとづくり」事業では、消費者である都市住民と農業者との交流を深めるため、農業体験や食育活動を推進し、地元の農業や農産物に対する理解を深める取組を行う。また、農家や住民が行う食農体験を支援し、地域に密着した活動を広めていく。さらに、学校給食への地元農水畜産物の利用の拡大を図り、地産地消・食育の推進を積極的に展開する。

「農地の守り手づくり」事業では、耕作放棄地全体調査の結果を活用し、意欲ある担い手への農地の集積を行うほか、耕作放棄地の農地への復元を行う。また、市民菜園の開設を支援し、農地の活用を進めながら市民の農作業体験へのニーズに対応していく。

【主な事業】	農のプロフェッショナルづくり事業	
	アグリビジネス支援事業	7,200千円
	新しい農の担い手づくり事業	
	新規就農者支援事業	1,000千円
	グリーンシニアカレッジ事業費	441千円
	新規就農技術支援事業	243千円
	地産地消ふるさとづくり事業	
	地産地消推進事業	150千円
	農業体験推進事業	290千円
	食の安全・安心確保推進事業	66千円
	食育推進事業	500千円
	農地の守り手づくり事業	
	優良農地復元事業	2,100千円
	市民菜園開設支援事業	300千円

## 2. 集団転作推進事業について

安定した水田農業経営の確立を進めるために、集落単位での一体的・計画的な取組みである集団転作を実施することが重要であり、品質・生産性の向上を図りながら、麦・大豆等の本格的な生産を推進する。

集団転作推進にかかる経費として、集団転作に取り組んでいる農家組合等に交付金を交付する。

集団転作推進事業	8,000千円
----------	---------

## 3. 農業生産基盤整備事業について

ほ場・農道等の施設整備を図り、作業の効率化、省力化を図るとともに、災害を未然に防止して農産物の安定生産を図る。

【主な事業】	受託ほ場整備事業(市場地区)	25,140千円
	土地基盤整備事業	33,150千円
	土地改良施設維持管理適正化事業	4,710千円
	(楠)南・北排水機場維持管理事業	18,463千円

## 4. 農地・水・環境保全向上対策事業について

農地・農業用水等の資源の保全や農業生産における環境保全への取組みを行う団体

に対し、活動を展開する地域の農地面積や環境に配慮し作付けした作物に応じ支援する。

農地・水・環境保全向上対策事業 6,000千円

## 5. 農業委員会の新事業「農地制度実施円滑化事業」について

1. 農地法に基づく事務の適正実施のための法令業務に対する支援  
相続等によるあっせん等の調査、農業員会の和解に関する調査・資料作成等  
農地の利用状況調査
  - ・ 農地法第3条第2項第7号（地域との調和要件）の確認のための現地調査、
  - ・ 農地法第30条に基づく利用状況調査・指導
  - ・ 農地の貸借等の情報収集・整理
2. 農地の有効利用を図るための支援
  - ・ 不在地主等の把握のための調査
  - ・ 遊休農地の所有者への貸借等の意向調査等、担い手への利用調整活動

農地制度実施円滑化事業 1,012千円

## 6. 水産業の振興について（豊かな海づくり事業）

水産資源の保護育成と安定供給に資するため種苗放流を行うとともに、漁協等が行う漁場環境の浄化に向けた取り組みを支援し、漁獲の回復と安定化を図る。

【主な事業】	豊かな海づくり推進事業	900千円
	ヨシエビ等種苗放流事業	1,060千円
	抱卵ガザミ放流事業	315千円
	アサリ種苗放流事業	200千円

## 7. 漁業生産基盤整備について

漁港海岸を整備し、背後地を自然災害から守る。

【主な事業】	磯津漁港海岸保全整備事業	47,400千円
--------	--------------	----------

## 8. 食肉センター・食肉市場事業について

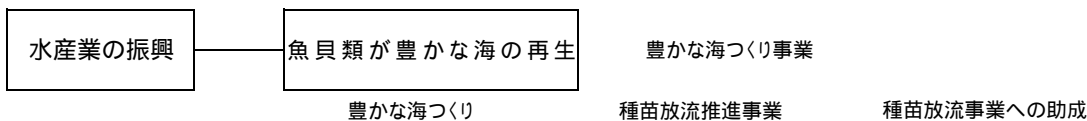
食肉品質の向上及び安全で安心な食肉供給に資するため、施設の適切な維持管理を実施するとともに、安全性確保や環境対策に努める。また、枝肉取引の適正化と流通の円滑化を図るために、卸売業者が実施する集荷・販売対策を支援する。

【主な事業】	食肉センター食肉市場施設整備事業	33,300千円
	食肉センター食肉市場施設維持管理事業	114,816千円
	市場機能強化対策事業	77,902千円

四日市アグリクリエイター創生事業



豊かな海づくり事業（水産業部門）



## 平成22年度農林水産関係予算の概要

### 一般会計 農林水産業費

(単位:千円)

項 目	平成22年度予算額	平成21年度予算額	対前年比%
農業委員会費	23,917	19,082	125.3
農業総務費	260,682	261,474	99.7
農業振興費	97,801	817,127	12.0
農業研究施設費	24,492	26,963	90.8
農業費 計	406,892	1,124,646	36.2
畜産総務費	17,362	17,302	100.3
畜産振興費	3,092	3,710	83.3
食肉センター - 食肉市場費	345,732	313,290	110.4
畜産業費 計	366,186	334,302	109.5
農地総務費	188,848	222,995	84.7
土地改良費	403,141	492,492	81.9
農地防災費	23,226	17,184	135.2
農地費 計	615,215	732,671	84.0
水産業総務費	7,972	7,502	106.3
水産業振興費	2,520	2,905	86.7
漁港管理費	5,485	4,510	121.6
漁港建設費	56,929	160,127	35.6
水産業費 計	72,906	175,044	41.7
合 計	1,461,199	2,366,663	61.7

### 食肉センター・食肉市場特別会計

(単位:千円)

項 目	平成22年度予算額	平成21年度予算額	対前年比%
業務費	390,867	367,733	106.3
元 金	114,854	110,145	104.3
利 子	28,979	31,922	90.8
公債費 計	143,833	142,067	101.2
予備費	500	500	100.0
特別会計 合計	535,200	510,300	104.9